

令和7年度 東アジア文化都市交流事業

新潟市開催 -アート交流プログラム-

実績報告書

新潟市文化スポーツ部文化政策課



東アジア
文化都市
2015新潟市
Culture City of East Asia
2015 NIIGATA

01 事業概要・趣旨



2015年日中韓の東アジア文化都市である新潟市、青島市、清州市の3都市は、2015年以降も継続して相互交流を実施することで、自都市の文化の独自性や東アジアの文化の共通性を認識して価値を共有するとともに、相互理解や連帯感を深化させ、共生・交流の関係づくりを築く機会となっている。

その取り組みの一環として、中韓学生を新潟へ招聘し、3都市の同文化分野で活動している学生同士の交流を通して、今後のスキルアップや他国文化への理解を深めるため、交流プログラムを実施した。

02 実施スケジュール

『アート』をテーマに、交流プログラムを実施する

プログラム	日時	内容
参加者募集	5月4日(日) ～5月21日(水)	新潟市在住・在学の高校生を対象として募集
日本参加者 事前説明会	6月20日(金)	事業説明、今後のプログラムの説明 など
日中韓参加者 オンライン交流会	7月26日(土)	日中韓参加者の事前顔合わせ 新潟市の紹介、交流レク など
アート交流プログラム	8月17日(日) ～8月21日(木)	レクリエーション 白根絞り体験 オリジナルキャラクター作成 オリジナルランタン作成、小学生とのランタンWS 日本参加者アテンドツアー
日本参加者 成果発表会	9月3日(水)	保護者・先生を招待し、成果の報告会

03 参加者

【新潟市】参加者：新潟市内高校生 10名(1年生6名・2年生4名)

引 率：新潟市文化政策課職員 4名

通 訳：新潟市文化政策課職員 2名、国際課職員 2名

【青島市】参加者：青島市内高校生 3名(2年生2名、1年生1名)

引 率：青島市文化観光局 2名

【清州市】参加者：清州市内高校生 5名(2年生1名、2年生4名)

引 率：清州市文化産業振興財団 文化都市本部 2名

04 事前オンライン交流会

【日 程】7月26日(土) 14時～15時30分

【会 場】古町ルフル4階 401会議室

【交流内容】下記のとおり

内容	説明
アイスブレイク part 1	・「AorB 2択ジェスチャー投票」ゲーム
新潟市の紹介 プログラム・宿泊施設の紹介	・新潟参加者から説明 (1人3～4枚スライド作成・発表)
参加者自己紹介 (日→中→韓)	参加者が事前に作成したスライドに基づき1人ずつ発表 →発表後、他国参加者からの質問タイム
アイスブレイク part2	・「日中韓 ひとつの答えをさがせ！」ゲーム
各国間質疑応答フリートーク	・各都市交互に質問

【発表資料】

新潟市の紹介



参加者自己紹介



アイスブレイク



05 交流会プログラム 1日目 8/17(日)

行程

18:00 日本参加者 新潟駅 集合

18:20 韓国参加者 新潟駅 到着・合流

【宿泊場所：アグリパーク】

06 交流会プログラム 2日目 8/18(月)

行程

9:30 しろね絞り体験 @白根学習館

12:30 中国参加者 新潟空港到着（昼食会場にて合流）

13:30 交流レク @古町ルフル

15:00 マンガ WS @古町ルフル

18:40 屋外交流 @寄居浜

【宿泊場所：ゆいぽーと】

しろね絞り体験 @白根学習館

【目的】新潟市無形文化財にも指定されており、新潟市を代表する伝統工芸のひとつである「白根絞り体験」を通して、日本の伝統文化や手仕事の美しさに触れ、ものづくりを通じた交流と相互理解の大切さを学んでもらう。

【講師】サークルしろね絞り

【内容】白根絞り体験（オリジナルトートバック作成）、サークルしろね絞り作成作品鑑賞



交流レク @古町ルフル

【内 容】◇主催者代表 歓迎挨拶（文化政策課長）

◇参加者自己紹介

下記①～③について、各国の参加者が1人ずつ発表

①呼ばれたい名前 ②交流で楽しみにしていること

③母国から持ってきたお菓子の紹介とその理由

◇レクリエーション

〈内容〉チーム対抗 世界ジェスチャー伝言ゲーム



マンガワークショップ @古町ルフル

【目 的】新潟市が誇るマンガ文化をテーマに、日中韓の高校生がオリジナルキャラクターづくりに挑戦し、互いの文化に触れながら、つながる喜びを学んでもらう。

【講 師】マンガ・アニメ情報館 近藤康宏

【内 容】オリジナルキャラクターの作成



屋外交流 @寄居浜

【内 容】 R7.7.26 に実施した「04 事前オンライン交流会」時のアイスブレイクの成功成果として、サブライズで花火を実施した



07 交流会プログラム 3日目 8/19(火)

行程

- 8:00 おにぎりワークショップ(朝食) @ゆいぽーと
- 9:30 ランタン作成
- 12:30 ランタン作成(続き)、作成作品展示作業
- 16:00 マンガアニメ情報館見学、万代散策 【宿泊場所：万代シルバーホテル】

おにぎりワークショップ(朝食) @ゆいぽーと

【目 的】 昨今、国内外で注目を集めている日本のソルフード「おにぎり」を、中韓の高校生に実際に作ってもらい、日本独特の食文化を理解し体験してもらう。

【講 師】 食と花の推進課 栄養士

【内 容】 日中韓それぞれの特色を取り入れた具材を用い、1人あたり3個のおにぎりを作成した。



ランタン作成ワークショップ @ゆいぽーと

【目 的】 日中韓の高校生が協力してランタンを制作する活動を通じて、互いの文化や価値観に触れ、相互理解と創造を通じた協働の意義を学んでもらう。

【講 師】 新潟大学教育学部 永吉秀司 准教授 、新潟大学教育学部 学生ボランティア 4 名

【内 容】 オリジナルランタンの作成、完成作品の展示作業



マンガ・アニメ情報館見学、万代散策 @ゆいぽーと

【内 容】 全国的にも珍しい、マンガ・アニメ文化を紹介するマンガ・アニメ情報館で怪獣 8 号展を見学。見学後、日本参加者がリーダーとなり、グループ毎に万代エリアを自由散策。



08 交流会プログラム 4日目 8/20(水)

行程

10:00 小学生とのランタン作成

13:30 新潟参加者アテンドツアー【新潟駅～ドン・キホーテ】

15:00 新潟参加者アテンドツアー【マリンピア】

17:00 まとめ・振り返り

18:30 **新潟参加者** 解散

【宿泊場所:万代シルバーホテル】

小学生とのランタン作成ワークショップ @ゆいぽーと

【目的】日中韓の高校生が協力してランタンを制作する活動を通じて、互いの文化や価値観に触れ、相互理解と創造を通じた協働の意義を学んでもらう。

【講師】新潟大学教育学部 永吉秀司 准教授、新潟大学教育学部 学生ボランティア4名

【内容】オリジナルランタンの作成、完成作品の展示作業



新潟参加者アテンドツアー @新潟駅～ドン・キホーテ、マリンピア

【内容】新潟参加者間で事前に相談し、中韓参加者に喜んでいただけたと考えられる市内のスポットを選定のうえ、アテンドを実施した。



まとめ・振り返り @古町ルフル

【内 容】 今回の交流プログラム全体の振り返りを行い、参加者全員で思い出に残ったこと等を、それぞれ発表しあった。

◇交流振り返り動画の視聴

◇体験振り返りシート記入・発表 「一番印象に残ったこと」、「交流中のハプニング」、「一番大変だったこと」等の全 10 項目について各自で振り返り、その後カルタ形式で引いたお題について全員の前で発表

◇全員へ寄せ書き



09 交流会プログラム 5日目 8/21(木)

行程

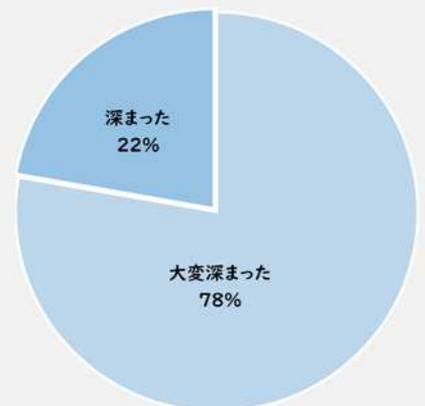
10:10 中国参加者 新潟空港 出発

12:50 韓国参加者 新潟空港 出発

10 参加者アンケート【新潟参加者】

◇今回の交流で相互理解が深まったと感じましたか

大変深まった	深まった	変わらない	あまり深まらなかった	深まらなかった
7	2	0	0	0



◇新たに興味や関心が深まったことについて教えてください

- ・韓国ではどんなことが流行ってるか、中国の学生は朝早くから登校するなど、各国の日常生活について知ることができ、関心が深まった。
- ・中国語や韓国語など様々な言語を学んで、もっとたくさんの人とコミュニケーションが取れるようになりたい。韓国・中国に行ってみたいと思った
- ・多様な文化を持つ人々と交流することへの関心が深まった。今回の交流を通して、自分の知らなかった中国、韓国の魅力だけでなく、日本の魅力も知ることができたからだ。
- ・中国、韓国の食べ物への興味が1番強かったが、新たにそれぞれの国の景色や文化への興味が出てきて、実際に行って写真ではなく目で見てみたいと思った。
- ・他国についての文化、言語など日本だけにとどまらず他の国についての興味、関心が高まった。
- ・各国の生活文化の違いや、興味関心の向く先など、人のことについて興味が深まった。

◇今回の経験が今後どんなことに生かせそうか教えてください

- ・今後様々な人と関わる際に必要な、互いを知ったり、理解する能力を身につけることができた。また、言語を使って言いたいことが伝わらないときに、ジェスチャーなどでどうにか伝えようとするマインドを得ることができた
- ・言葉が通じない人と会話する場面で、ジェスチャーや表情など、「伝えたい」という姿勢を持って接することで、相手と意思疎通ができると学んだ。異なる国同士の交流において、怯まずに自分から交流することに生かしたい
- ・その国の言語がわからなくても、とりあえず話しかけたり聞くことができたり、案内を頼まれても咄嗟に判断することができそう

◇日中韓の文化の違いで驚いたことを教えてください

- ・韓国では日本語を授業で学ぶことや、中国は朝の6時半から授業が始まること
- ・正月、誕生日にすることの違いや、韓国・中国は夜の9時過ぎまで学校で自習をすること
- ・中国と韓国の学校の時間が日本より長いこと
- ・韓国は母国語、第二言語、第三言語を学ぶことや、お皿を持って食べるのは行儀が悪いこと。
- ・中国の学校は夜9時頃に終わる。麺をすする音を立てたり、お皿を持って食べることは行儀が悪い。ご飯を少し残すことがマナーだと知っていたけど、法律ができて最近ではあまり推奨されていないこと

11 参加者アンケート【中国参加者】

◇今回の交流で相互理解が深まったと感じましたか

大変深まった	深まった	変わらない	あまり深まらなかった	深まらなかった
3	0	0	0	0



◇全体を通して

- ・三日間の日本交流活動は終わりましたが、その思い出は今も昨日のこのように心によみがえってきます。今回の交流は、ただ国境を越えるだけでなく、文化に深く触れ、心と心が通い合う大切な時間となり、身近なようで遠い存在だった日本を新しい角度から知ることができました。
- ・日中韓の仲間と過ごした日本での交流は、心の共感を実感できる交流でした。最初はそれぞれの文化を背負い、たどたどしい英語やジェスチャーで話していましたが、一緒に食事をしたり、日常のことを語り合ったりするうちに、自然と距離が縮まっていきました。
- ・短い時間でしたが、とても充実した交流になりました。先入観を脇に置いて、相手の話に耳を傾ければ、違いがあるから世界は面白く、共感があるから心が近づくことを実感しました。この国境を越えた友情は、これからも忘れられない宝物です。そして、また新たな国際交流の機会に出会えることを心から楽しみにしています。

12 参加者アンケート【韓国参加者】

◇今回の交流で相互理解が深まったと感じましたか

大変深まった	深まった	変わらない	あまり深まらなかった	深まらなかった
5	0	0	0	0



◇全体を通して

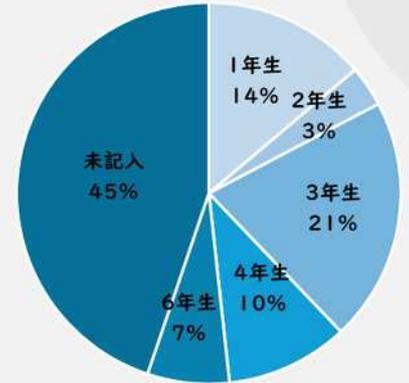
- ・文化交流プログラムに参加する前は、言葉のせいでコミュニケーションが難しいのではないかと心配していましたが、お互いの表情や身振り手振りなど、様々な方法で自然に会話ができビックリしました。また、言葉は違っても心は通じ合えるということを実際に感じる事ができました。
- ・韓国、中国、日本の学生たちと一緒に一つの目標に向かってプログラムを進めるのは初めてだったので緊張しましたが、細かくよく練られたプログラムと、疲れすぎない程度の適度なスケジュールのおかげで、楽しくリラックスしてプログラムを楽しむことができました。
- ・お互いの国の文化を学び、経験できる最高のプログラムでした。他国の文化を体験するだけでなく、言葉も国籍も違う仲間が集まって友達になり、それぞれの国について少しずつ知っていくことができたので忘れられない経験になると思います。

13 日中韓高校生と国際交流しながらランタンを作ろう！小学生アンケート

【参加数】28名 【回答者数】28名 【回答率】100%

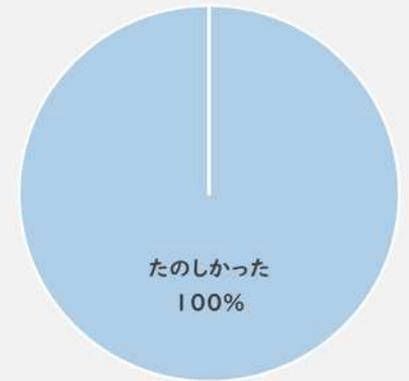
◇学年

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
4	1	6	3	0	2



◇今日は楽しかったですか

たのしかった	ふつう	たのしくなかった	未記入
28	0	0	0



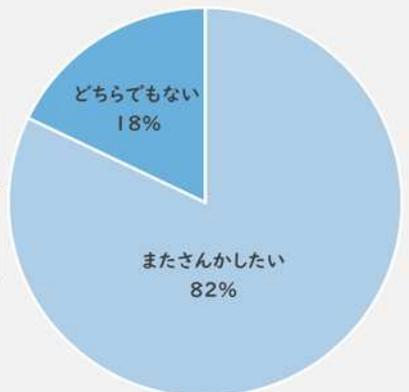
◇高校生のお兄さん・お姉さんとお話しましたか

たくさんおはなした	すこしおはなした	あまりおはなしできなかった	未記入
20	8	0	0



◇また、今日のようなイベントに参加したいですか

またさんかしたい	どちらでもない	さんかしたくない	未記入
23	5	0	0



◇今日のお兄さん・お姉さんへメッセージをください

- ・会えてうれしかったです。さようなら
- ・とんぼの画像を見せてくれてありがとう
- ・いろいろ優しく教えてくれてありがとうございました。楽しかったです。
- ・いっぱい話してくれてありがとうございました。また会えたらうれしいです。今日は楽しかったです。
- ・今日作ってよかったし、作るときにお姉さんが手伝ってくれてありがとう
- ・優しくしてくださりありがとうございました。すごく楽しかったです。楽しかったのでまた行きたいです。
- ・お話しできて良かったです。ありがとうございました。
- ・今日はお手伝いなどありがとうございました。
- ・韓国や中国の方々がいて緊張していたけれど、優しい声掛けをしてもらえてすぐに緊張がなくなりました。
- ・日本語を覚えてくれてうれしかったです。本日は、ありがとうございました。
- ・優しく教えてくれてありがとうございました。上手って言ってくれてありがとうございました。
- ・今日は、ありがとうございました。難しかったけれど楽しかったです。またお姉さんたちと遊びたいです。
- ・ランタンを作るのを、手伝ってくれてありがとうございました。また会えたらうれしいです。
- ・ランタンの作り方を教えてくれてありがとうございました。
- ・色々なことを一緒にやれて楽しかったしランタンを作ることも楽しかったです。
- ・今日は、色々教えてくれてありがとうございます。また会いましょう。楽しかったです。
- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ランタンの作り方を教えてくれたり、いっぱい話しかけてくれてありがとうございました。
- ・今日楽しかったよ。少ししかお話できなかったけれどもまた出てきたら絶対やりたいです。
- ・ランタンづくりのお手伝いをしてくれてありがとうございます。
- ・教えてくれてありがとうございます。
- ・たくさんあそんでくれてありがとう。また遊んでね。
- ・もっと違うところへ行って頑張る
- ・お兄さんお姉さんへ また日本に戻ってきてください待ってます。絶対来てね。



14 成果・所感

- ・2019 年以来、6 年ぶりとなる 3 都市での対面交流を実施した。
- ・昨年度までの実績を踏まえつつ、対面交流前にオンラインによる 3 都市合同の事前交流会を実施した。はじめは緊張感が見られたものの、アイスブレイク等を通して徐々に参加者も慣れ、お互いの距離が縮まり、交流開始時の気持ち的なハードルが下がり、より深い交流に繋げることができた。
- ・参加都市による直前での訪日日程の変更等、急な内容変更に対応すべき場面が多くあったものの、関係者間で連携を取りながら柔軟に対応することができた。
- ・「アート」というテーマは、言葉によるコミュニケーションに頼らなくとも自分の思いや考えを様々な形で表現できるものであり、国や言語の違いを越えて交流を深められる有効なテーマであることが分かった。
- ・定員の数倍に及ぶ申込があった一方で、学年等に偏りが見られた。今後は、より幅広い層から申込が得られるよう、広報方法や内容の工夫が必要である。
- ・「日中韓高校生と国際交流をしながらランタンを作ろう！」では、想定を超えるペースで申込があり、中韓の高校生と小学生が国際交流できるワークショップに高い需要があることが分かった。満足度も非常に高く、今後の継続的な実施や内容の発展が期待される。
- ・参加者アンケートの結果からも、相互理解が「大変深まった」「深まった」と回答する割合が高く、本事業が国際理解の促進に一定の成果を上げたことが確認できた。
- ・参加者からは、言語に頼らずに相手に伝えようとする姿勢や、多様な価値観を受け入れる意識が身についたとの声が多く聞かれ、今後人と関わる様々な場面で生かされる学びの機会となった。
- ・一連のプログラムを通して、新潟参加者が主体的に考え行動する場面が多く見られ、参加者でありながら日を追うごとにホストとしての自覚を持って行動するようになり、自主性の育成につながった。
- ・本事業は、参加者一人ひとりにとって国際交流を身近に感じる貴重な機会となり、将来にわたる国際的な視野の醸成につながる取組となった。

